

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	船越(31)立体駐車場	階数	地上4階
建設地	神奈川県横須賀市船越町7丁目1他17筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2024年4月11日
敷地面積	3,032㎡	作成者	株式会社鴻池組東京本店一級建築士事務所
建築面積	1,340㎡	確認日	2024年4月11日
延床面積	5,253㎡	確認者	株式会社鴻池組東京本店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合		その他
4階建てにすることにより、3階建てより平面積の削減が可能となる為、敷地内がより開放的な空間とするように配慮した。		-
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 敷地南側の既存建物との間に、緑地帯を設け、既存建物の環境に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 超寿命・高効率のLED照明を採用することで、エネルギー消費に配慮した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 平面的に駐車場を小さくすることで駐車場部分の外壁面が短くなり、景観に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される